

苗場山麓ジオパーク学術研究実施報告書（鑑文）

平成 29 年 1 月 31 日

団体名（所属） 信州大学院 総合工学研究科

代表者名（氏名） 大杉 周

1 研究の名称

森林におけるシダ植物の種組成マップの作成と林冠の植生区分との対比

2 研究のテーマ

林床のシダ植物と林冠の植生の関係

3 調査・研究等の日程と概要（調査区域や地点・調査方法など）

※これまでの実績と今後の予定

日程	主な調査・研究等の概要
平成 28 年 5～6 月	調査地の選定とコドラート設置場所のための周辺探索
8～10 月	コドラートの設置作業 林冠層のマップ（図 3）の作成
11～12 月	低木のマップ（図 4）、微地形区分図（図 5）、落葉層堆積分布図（図 6）、最後にシダ植物群集の分布図（図 2）の作成
平成 29 年 1～2 月	マップ資料のデータ化、シダ植物分布と各環境要因との統計解析
3 月	「第 64 回 日本生態学会大会」にて本研究の発表

4 調査・研究結果（概要）

シダ植物の分布図（図 2）、林冠層と低木層の被覆範囲図（図 3, 4）、微地形区分図（図 5）、落葉層堆積分布図（図 6）の 4 種類のコドラートマップは完成した。

しかし、シダ植物の位置データをマップから（X, Y）座標に変換する作業が現在進行中であり、シダ植物の分布と林冠層・環境要因との関係性の分析はまだ行われていない。

予想として、シダ植物の面積あたりの個体密度はスギ人工林のほうが多いためスギ人工林はシダ植物にとって重要な生息地であり、一方でブナ二次林は、落葉層の性質などによりシダ植物をはじめとする多くの下層植生が阻まれる環境である、とも考えられる。

2～3 月で解析を行い、「第 64 回 日本生態学会大会」にて今回の研究結果を発表した後、津南学掲載のための清書を行う予定である。

※調査・研究結果がわかる資料を添付してください。